

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

植樹祭に参加して

湘南国際村めぐりの森の植樹祭に参加してきました。

主人も私も初めての参加でした。

森林再生を目指し苗木を植えて森作りをする植樹祭です。

タブノキ、シラカシ、アラカシ、スダジイ、ヤマザクラ…等々

22種類2000本の苗木が準備されたそうで、参加者全員で植樹をしました。

『同じ苗木を隣に植えないように…、』 えっ？ なぜ？

植樹の説明と指導をされた横浜国大名誉教授、宮脇昭氏のお話から、

『自然の森は色々な種類の木が混ざり合っている。仲の良いものだけを

集めても駄目、人間社会も同じ、混ぜる、混ぜる、混ぜる！

異なる苗木を混植し、共生させて、自然の本物の森ができる。

本物は厳しさに耐えて長持ちする、我慢が必要なんです。…』と、力説。

200人ぐらいの人が集まったかな、各自に黄、緑のカラフルな移植ゴテが手渡され、8つの班に分かれ、なだらかな斜面に移動。

- ① ピートポットの苗木をそっと優しく水に浸しました。
- ② ピートポットの 1.5 倍の苗木床を掘りました。
(ゴロゴロの岩土だらけ、ええ？ 驚き、こんなのでもいいの？ そう、ここは山ですもの。)
- ③ 異なる苗木になる様意識し、移植ゴテ2倍の間隔をとりながら苗木の移植をした。
- ④ 藁を地表にたっぷり敷き詰めました。(保温、保湿、肥料の為)
- ⑤ 藁の上に縄をかけました。
(藁が吹き飛ばされない様に地中に打ちこまれた竹に縄を結び掛けました。
縄を固く縛る縛り方を教わりました。)
- ⑥ 最後にバケツで水をたっぷり豪快にまきました。

私は7~8本の苗木を植えました。すごく楽しかったです。

それぞれの苗木にいとおいしい思いを感じ、作業体験の達成感を味わいました。

苗木は1年で10センチ程伸びるそうで生育が楽しみです。

追、歌舞伎界の市川海老蔵が来場、間近に見られてラッキー！でした。

大越節子

植樹祭



1. 2013. 12月の主な活動報告

- ① 11月20日(水) シラカシ整理、SF準備
- ② 11月23日(土) 9号緑地立ち枯れ木伐倒、草取り体験会、クヌギ林桜伐倒、炭焼
- ③ 11月27日(水) 炭小屋内ベンチ設置準備、SF準備、センターから依頼された板20枚作成
- ④ 11月30日(土) クヌギ林草刈、炭出し、SF準備
- ⑤ 12月 4日(水) 竹林整備、SF準備
- ⑥ 12月 7日(土) 9号緑地より杉材搬入、ホダ木用クヌギ3本伐倒、SF準備
- ⑦ 12月11日(水) センター用薪作り及び搬入、森の恵み展示棚作成設置、SF準備
- ⑧ 12月14日(土) トウネズ・ミズキ・桑伐倒、森の恵み設置作業、SF準備、木酢液ビン詰め
- ⑨ 12月18日(水) シラカシ整理、粗朶柵作り、森の恵み設置作業、森ボラ研修打合せ
- ⑩ 12月21日(土) 伐倒材運搬・粗朶柵作り、森の恵み設置作業、注連縄作り、運営会、森の家で忘年会

2. 運営会報告

- ① 1月25日(土) のZFC主催間伐体験会の担当者は次の通り。
吉田、片岡、武田、藤原、山田
- ② 1月29日(水) の横浜市主催の「森づくりボランティア入門講座」は参加者13名でZFCの担当者は次の通り。
大越、片岡、赤羽、吉田、山田、他1名
- ③ 炭小屋内の食事用いす・テーブル台の改修及び来場者休憩用いす・テーブル設置については工藤さんを中心に片岡さんと赤羽さんが協力して行う。
- ④ 畑プロジェクトのクヌギ・ミズキの伐倒は2月上旬に行う。
- ⑤ 蒸留窯水令塔のガ台の改修を検討する。

3. 1月の活動予定

- ① 1月 4日(土) 休み
- ② 1月 8日(水) 炭小屋開き、SF準備
- ③ 1月11日(土) シラカシ伐倒、竹林整備、製材、SF準備
- ④ 1月15日(水) シラカシ整理・粗朶柵作り、SF準備
- ⑤ 1月18日(土) 管理地草刈、SF準備、運営会
- ⑥ 1月22日(水) シラカシ整理、ドラム缶窯用炭材準備、SF準備
- ⑦ 1月25日(土) ドラム缶窯炭焼、SF準備、製材、間伐体験会、会報発送作業
- ⑧ 1月29日(水) シラカシ整理、SF準備、横浜市主催「森づくりボランティア入門講座」

以上